

2004年12月21日

## 第8回環境コミュニケーション大賞

### 環境報告書部門「環境報告大賞(環境大臣賞)」受賞

12月21日(火)に環境コミュニケーション大賞の各賞の発表があり、当社発行の「JR東日本グループ社会環境報告書2004」が環境報告書部門の「環境報告大賞(環境大臣賞)」を受賞いたしました。

「環境コミュニケーション大賞」は(財)地球・人間環境フォーラムが主催し、環境省が後援する、環境報告書に関する表彰制度の中では、国内で最も著名な賞のひとつです。

当社では、96年から「環境報告書」を発行(02年からは「社会環境報告書」として発行。)しており、報告書を通じて、多くの方に当社の環境への取り組みをお知らせするとともに、ご意見をいただくきっかけとなるツールとして活用してまいりました。今回の受賞を受け、今後も、さらにわかりやすい情報開示に努めるとともに、積極的に環境コミュニケーションを推進してまいります。

#### 1 受賞内容 第8回環境コミュニケーション大賞

環境報告書部門「環境報告大賞(環境大臣賞)」

審査講評などにつきましては、(財)地球・人間環境フォーラムのホームページ  
をご参照下さい。( <http://www.gef.or.jp/eco-com/> )

#### 2 表彰式

(1) 日時 2005年1月20日(木) 13:00~14:30

(2) 会場 日本青年館大ホール(東京都新宿区霞ヶ丘町7-1)

#### 3 JR東日本グループ社会環境報告書2004の主なポイント

(1) 主要な取り組みについてドキュメンタリーで紹介する「ハイライト編」

本報告書は「ハイライト編」と「詳細編」の2部構成としています。

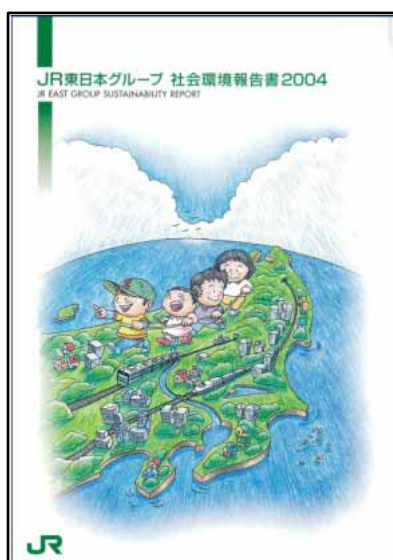
各種取り組みを網羅的にご紹介する「詳細編」に対し、「ハイライト編」では、第一線で取り組む社員にスポットを当て、取り組みの背景にある考え方や詳しい過程を浮き彫りにしています。

## 【ご紹介内容】

- 「環境配慮型車両 E 231系はこうして生まれた」
- 「エコドライブの推進で安全性も向上」
- 「クリーンな電力で列車を動かす」
- 「安全・安定輸送へのチャレンジ」
- 「より速く静かな新幹線をめざして」
- 「駅型保育で働く女性をサポート」
- 「駅ビルの生ゴミを肥料にリサイクル」

## (2) 持続可能な社会構築に向け、率直なご意見をいただいた「ステークホルダー・ダイアログ」

「JR東日本グループが持続可能な社会構築のために何ができるのか」をテーマに、各分野の専門家の方をお招きして開催した、2004年4月1日「第一回ステークホルダー・ダイアログ」における議論の内容を掲載しています。「インターモーダル」、「クリーンエネルギー活用」、「街づくり」などに関するステークホルダーの皆さまのJR東日本グループへの期待、ご意見が展開されています。



【表紙】



【ハイライト編】

## 4 参考（環境コミュニケーション大賞について）

### (1) 概要

昨年度までの環境レポート大賞を改称。優れた環境報告書等やテレビ環境コマーシャルを表彰することにより、事業者等の環境情報の開示と環境コミュニケーションへの取組を促進することを目的とする表彰制度。

### (2) 主催等

主催：財団法人地球・人間環境フォーラム

後援：環境省、毎日新聞社、日本経済新聞社

### (3) 応募数

4 2 6 点（内、環境報告書部門は、3 1 9 点。）